

令和7年2月25日

世田谷区立桜丘小学校
校長 東城 良尚様

令和6年度 学校関係者評価委員会

学校関係者評価アンケート結果により分析・改善に向けての提言

《学校関係者評価委員会》

- ◎委員長 稲田 正克：地域、元目黒区立小学校長
植田 圭司：新 BOP 事務局長
大賀 幸子：保護者
吉良 雅彦：元保護者、元 PTA 会長
菱刈 晃夫：学識経験者、国土舘大学教授
二川 早苗：元保護者、地域、日本家庭教育学会理事長、
元世田谷区立小学校 PTA 連合協議会長

本委員会は児童・保護者・地域のアンケートに基づき、桜丘小学校へ提言いたします。

《アンケート実施日》

- ① 児童 令和6年 11月28日
② 保護者 令和6年 11月28日 ~ 12月12日
③ 地域 令和6年 11月28日 ~ 12月12日

《回収の方法・回収率》

- ① 児童 学級にてタブレットで回答 (5年 131人、6年 157人)
② 保護者 各家庭で2次元コードを通じて回答 回収率 45%
1年 54% 2年 44% 3年 52% 4年 48% 5年 47% 6年 47%
③ 地域 学校協議委員会の方々へ郵送し、回答後郵送にて回収
回収後学校で2次元コードを通じて入力 36人

【学習指導について】

- ・児童への学習指導については、概ね高評価である。
- ・以前と比べて評価が上がっているので学校に対する印象は良い。保護者が授業参観や学校行事への参加など学校の現場を見て回答されている様子がうかがえる。
- ・黒板の書き方やプリントなどを工夫してさらに工夫を重ねて子どもの学習への意欲を高めてほしい。
- ・職業について直接学ぶことだけがキャリア教育ではなく、なりたい自分に近付いたり、社会的自立に向けたりということもキャリア教育である。その意味では学校は充実したキャリア教育を提供しているが保護者への浸透率が低いがために継続して理解を促してほしい。自分の生き方や将来のことについて考える授業をさらに具現化してほしい

【先生について】

- ・日々の授業で丁寧に指導している。今後も、丁寧な授業をさらに展開してほしい。しかし、児童、保護者ともに「先生たちに相談できる」の肯定的評価がそれほど高くない。担任の先生だけではなく、周りの先生にも相談できる環境づくりに努めてほしい。

【生活指導について】

- ・子どもたちは、決まりを守って、考えながら行動できている。
- ・早寝・早起き・朝ごはんの大切さを学校からも子どもたちに伝える教育と家庭への啓蒙をしてほしい。
- ・塾に通っているか否かに関わらず、学校は児童に対して学校での楽しさや生活の喜びを一人一人が感じとれるように今後とも働きかけていただきたい。

【学校からの情報提供について】

- ・学校からの情報提供については、工夫を入れながら行っている。今後も保護者が求める桜丘中学校関連の情報を提供していただきたい。

【学校運営について】

- ・概ね高評価である。校長、副校長をはじめ、先生方の努力の賜物と思われる。今後も引き続き児童・保護者・地域から安心・信頼される学校運営を継続してほしい。

【家庭と学校の連携について】

- ・家庭と学校の連携の重要性に鑑み、より良い子どもを育てるために保護者にも学校への協力を期待したい。

【地域との連携について】

- ・保護者、地域ともに肯定的評価がそれほど高くないが、前回の学校協議会では、地域の方から協力したいとの申し出の声が多くあった。地域の方々の人的活用の機会を設けてほしい。

【学校の安全性について】

- ・肯定的評価が高くなっているのは日ごろの成果の賜物と思われる。引き続き子どもたちが安心して生活できる環境づくりに努めてほしい。

【学校独自項目について】

- ・自他の良さを認め合う学びの場は増えている。今後もさらに意識して進めてほしい。

【終わりに】

概ね子どもたちは楽しい学校生活を送っている。

学年ごとの考察を見ると、ほぼ共通して「学校生活は楽しい」とする一方で、「早寝早起き朝ごはん」や「挨拶」への問題認識や、「先生に相談しづらい」状況を一定程度の児童が抱えているように見える。さらに子どもたちが意欲的に進んで取り組む環境づくりを期待したい。学校だけで生活の指導は出来ないし、家庭・地域との連携が必要な面がある。また、気軽に子どもが先生と話が出来て、コミュニケーションをよりスムーズにするためには、一層の工夫が必要ではないか。地道にコツコツとていねいに積み上げるしかないことではあるが、今後とも子どもたちの安心安全で楽しい学校づくりをお願いしたい。次年度はさらに回収率が上がるように学校の努力を期待します。